

2022年度 兵庫県立播磨南高等学校3学期終業式式辞

2023年3月23日

校長 吉田 尚美

～コモン(公共)の再生～

3月13日に行われたアカデミー賞授賞式で、国際長編映画賞を受賞したのは「西部戦線異状なし」という映画です。第1次世界大戦でのドイツ軍とフランス軍の戦いが描かれています。この戦争は塹壕戦で膠着し、4年間前線はほぼ動かなかつたと言われています。わずかに数百メートルの陣地を得るために300万人以上の兵士が死亡しました。

そして現在は、ロシアがウクライナに侵略してから1年が経ちますが、ロシアは自分の領土を広げようとウクライナの町を破壊し続けています。土地の取り合いのために多くの命が失われるのは大変悲惨なことだと思います。

そもそも、どこかの国の土地、誰かの土地って最初からあったのでしょうか。大昔は誰のものでもない土地があっただけです。人間は地球上に生まれて、その土地に住んで、そこにある自然の材料を使わせてもらって生活する。そして、死んだ後は自然に返して、また新しい誰かがそこに住んで・・・というふうに生活してきたはずで、学校と一緒にですね。卒業生が出て行くと新入生が入ってきて学校の施設を使うという感じです。学校が公共財であるように、本当は地球そのものが生き物全体の公共財なのです。

もちろん個人の財産は日本国憲法29条で保障されています。だから、土地も誰かの土地です。けれども、一方で、土地や、海や、水や、エネルギーや、教育や医療などみんなが生きるために必要な物については、誰かが自分の物として管理しているけれど、基本的には生き物全部の公共の財産だという考えを持っていることが必要だと思います。自分だけの物だ、それを利用して利益を上げよう、権力を得ようと思いだすと、争いが起こったり、自然を破壊したりします。

私たちが今生きている資本主義社会は全ての物を商品化する社会で、自由に経済活動ができることを基本としていますが、資本主義は限界に来ていると言われていています。このままでは自然破壊が進み、地球環境が壊れてしまうからです。地球温暖化にしても、新型コロナウイルスにしても、その対策は人類全体で行う必要がありますし、自分だけでなく、他の人のことも考えないと解決できない問題です。人はもっと謙虚になり、他の人のことも思いやって、誰もが暮らしやすい社会を作っていくべきだと思います。

皆さんはどんな社会を作っていきたいと思いますか。これから自分の頭でしっかり考えてください。そして、色々な視点から物事を見られるように本を読み、人と話し合い、深く学んでください。本校の特色は「地域デザイン」です。来年度は現地調査に出かけ、地域の課題について考え、様々な人から話を聞き、解決方法を考えます。その活動を通して、自分のことだけでなく、他の人のことも、環境のことも大切にできる人になってほしいと

思います。品格のある人とは、自分のことだけでなく他の人のことも考えることのできる
広い視野を持った人のことです。みなさんも品格のある、素敵な人になってください。